

K 広報くにみ Kunimi

Dec.2021
No.581

12

ココロおどるハタチ

私たちの未来はこれから



Contents (主な内容)

- ② くにみささえ愛
- ⑩ 令和3年度国見町表彰式
- ⑫ 秋の叙勲
- ⑱ まちのわだい
- ⑳ まちの情報ボックス



祝 成人

地域が

人をつなぐ

「絆」に

高齢化が進みます進む中では、高齢者のみなさんの「社会的孤立をどう防ぐか」がとても大切になってきます。今月号では、「地域の居場所」づくりに取り組む「くにみさせ愛」の活動について紹介します。

地域住民の支え合い

超高齢化社会の今、生活スタイルの多様化や核家族化が急激に進んでいます。国見町においても、高齢者の一人暮らし世帯や高齢者夫婦世帯が年々増加し続けています。「くにみさせ愛」は、地域における支え合いの輪を広げるため、「地域の居場所」づくりを地域の人々が中心となって創り出す取り組みで、平成29年3月に立ち上げられました。

くにみさせ愛の活動

「居場所」や「通いの場」「サロン」などの地域福祉に関わる方が月に一度集まり、住民同士の支え合い活動を生み出す仕組みづくりに向けた話し合いを行っています。それぞれの担当が各地区で行った活動の報告やこれまでの振り返りを行います。課題や反省点が出されると、参加者からは多くの意見やアドバイスを寄せられるなど、活発な話し合いが行われています。

各地区の取り組み

それぞれの地区が自発的に取り組む「地域の居場所づくり」

『こらんしょ会』『いっぷく』『宮東寄合処』『陽だまり』など、それぞれの地区で地域の居場所づくりに取り組む“させ愛の輪”が広がっています—

▲『風船遊び』で盛り上がる参加者たち。持ち寄ったお菓子や料理を食べながら、参加者全員で熱中しました



▲参加者の皆さん。「来月もまた、みんなで集まりたいね」と話しました



こらんしょ会

源宗山地区

開催日時 月1回（第2土曜日）
午前10時から午前11時30分
開催場所 源宗山集会所
参加費 1回の参加につき200円

▼源宗山地区『こらんしょ会』の一コマ。会の始まりと終わりに「年をとるってどんなこと」を参加者全員で歌います



5か月ぶりの開催

11月13日、源宗山集会所で開かれた『こらんしょ会』。新型コロナウイルス感染症の影響のため、今年6月の開催以来、2回目の開催です。「久しぶりだねえ。元気だったかいい?」「最近顔を見ないから心配してたんだよ」。そんな言葉が参加者同士で交わされます。

この日は、会長の高橋とし子さんが腕を振った特製弁当や参加者の皆さんが持ち寄った自慢の一品料理、お菓子がズラリとテーブルに並びました。「今日のおやつは、クリスマス風に袋詰めしたの!!」。と楽しそうに語る高橋さん。

地区の皆さんのために

『こらんしょ会』を立ち上げた高橋さんと鍛冶内悦子さん、斎藤洋子さんは「高齢者の一人暮らしが多い源宗山地区に、みんなが気軽に集まれる、お茶飲みができる場所が



▲高橋さんによる“おしゃれ”な心遣い

あれば...」。という思いを抱いていました。町内会長の協力もあり、平成26年4月に『こらんしょ会』が始まりました。誰でも気軽に参加してほしいという思いから名付けた『こらんしょ会』。毎月地区の皆さんが集まり、体操やゲーム、歌を歌って楽しく体を動かした後は、お待ちかねの昼食会。高橋さんらが手作りする食事は大好評で、参加者の皆さんが笑顔になります。「みんなの顔が見られて本当にうれしい。再開を待っていたの」。こうして集まるのが生きがい、これからも頑張れる」と参加した皆さんが語ります。その言葉からは『こらんしょ会』を約7年間継続してきた、確かな「つながり」が感じられました。

話をしたり、食べることは大切なこと。地区の皆さんに、近況報告など世間話をしながら楽しくお茶飲みをしたり、食事をして過ごしてもらえたらうれしいです。特別なことはできないけど、今のまま可能な限り続けていきたいと思っています。

地区の方に声かけをしていますが、参加者を増やすことはなかなか難しいです。気を遣わずに、気軽な気持ちで参加してみてください。お待ちしております。



高橋 とし子 さん

▲お互いの近況報告に話の花を咲かせました



宮東寄合処

宮東町内会

開催日時 月1回(第3木曜日)
午後1時30分から午後3時
開催場所 宮東集会所
参加費 1回の参加につき100円

▲軽食の後は参加者全員で頭の体操。笑いの絶えない「温かい」居場所でした

地区ぐるみの支え合い

11月18日、宮東集会所で開かれた『宮東寄合処』。集会所の中には地区の皆さんが20人近く集まっていました。テーブルの上には、世話人の皆さんが腕をふるった料理やスイーツが並びます。

「この地区に住んでいて良かった」。宮東町内会は高齢者に優しいからね。お互いに助け合いができてよ。参加者が語ります。寄合の冒頭には、町内会長の佐藤庄蔵さんから、なりすまし詐欺や各家庭の防犯について注意しましょうといった話があるなど、地区ぐるみの支え合いのカタチが感じられます。

料理をおいしくいただいた後は、頭と体の体操や歌の時間。世話人が先生となり、みんな楽しく笑顔の絶えないひとときを過ごしました。

人と人のつながり

毎月1回、開催されている『宮東寄合処』。佐藤さんの呼びかけで、世話人の皆さんとともに平成29年12月に活動を始めました。主な活動は茶話



▲佐藤会長(左から3人目)と世話人の皆さん
エプロンはお揃いで、帽子はこの日のために手作りです

会で、毎回20人ほどが集まります。
「今度私を通ってる国見フ라우エンの演奏会があるからね」。町でこんなイベントがあるらしいよ、行ってみっかい? 『宮東寄合処』は地域のイベントや大切なお知らせなど、地区の皆さんが情報を共有する場でもあります。回覧板で見落とししてもこの場で皆さんと再確認。一人暮らしの方だけでなく、寄合処に参加した方全員で共有し、つながる。この大切さに気付かされました。

▼世話人の皆さんが持ち寄った料理がズラリと並びます



佐藤 庄蔵 さん

立派なものではないがせっかく集会所があるのだから、どうか有効活用できないか…。そんな思いが『寄合処』を立ち上げるきっかけ。世帯数が多い町内会だけど、その分高齢者も多い。みんなで支え合いができればと思います。今後は参加する人を増やしていきたい。若い人にも参加してもらえるような取り組みも考えています。性別や年齢を問わず、誰でも自由に参加してもらえるとうれしいです。

家族のようなつながり

11月21日、塚野目集会所で開かれた『寄合処いっぷく』。開始時間の前に参加者が集会所を訪れると、「テレビでも見て、みんな来るまでお茶飲んで待っててね」。世話人が優しく声をかけます。開始時間にはプリンやアップルパイ、スイーツポテトなど、世話人の方たち特製のスイーツがテーブルに並びました。

この日はふくしま駅伝の開催日。「国見町は何位だい?」「今年は何回走るから応援しないと」。集まった皆さんによるパブリックビューイング：かと思えば、あちらこちらでそれぞれの話に花が咲きます。おいしいスイーツとお茶をいただきながら、思い思いに好きな話をする。賑やかに笑いの絶えない、まさに仕事や家事の合間の「いっぷく」ができる素敵な場所だと感じました。

心地良さを感じて

『寄合処いっぷく』は平成29年8月に活動を開始。佐藤勢津子さん、佐久間弘子さん、菊地軽子さん、小島よねさん、佐久間喜子さんの5人



▲「待ってたよ〜」と声が聞こえてきます

が世話人となって運営しています。会の主な活動は茶話会。世話人の皆さんが手作りした特製のお茶うけを囲み、自由な時間を過ごします。毎回10人ほどが参加します。時には、季節の行事を取り入れた活動も行っていて、若い世代の方や子どもたちも参加することがあります。

「農作業や子育ての合間に参加してほしい。誰でも気軽に立ち寄れる場所にしたい」。そんな思いから始まった『寄合処いっぷく』。「いらっしやい、待ってたよ〜」「今日はお父さんも連れてきたからね」といった声が行き交います。

年代や性別関係なく、誰でも温かく迎え入れてくれる場所。訪れる人たちに、まるで自宅の「茶の間」のような居心地の良さを感じさせてくれる地域の居場所がここにあります。



▲みんなで国見町駅伝チームを応援

高齢者の方だけでなく、若い人や子どもたちにも参加してもらえるような居場所づくりを目標に活動をしています。「最近、あの人の姿が見えないね。大丈夫かな…」など、寄合処をとおして皆さんのつながりが強くなった気がします。

今後は細く長く、地域の人たちに理解してもらえるように活動していきたいです。この取り組みを若い世代に引き継いでいくのも課題です。また、寄合処が皆さんの相談の場になればいいなと思っています。ぜひ、気軽に足を運んでみてください。



佐藤 勢津子 さん

▼参加者の皆さんが思い思いの話に花を咲かせます。誰でも気軽に『いっぷく』ができる場所でした



寄合処 いっぷく

塚野目地区

開催日時 月1回(第3日曜日)
午後1時から午後4時
開催場所 塚野目集会所
参加費 無料 ※活動内容により会費徴収



▲ 第3町内会『さくら体操クラブ』活動の一コマ
ウォーミングアップの後DVDを見ながら「いきいき百歳体操」を実践します

さまざまな地域の居場所

これまでのカタチにとらわれない
“地域の居場所”がそこにありました

「一から“地域の居場所”なんて作れないよね…」
そんなことはありません。皆さんの身近にもいろいろな
カタチの“地域の居場所”があるのです。

地域で支え合う 介護予防事業 **通いの場**

町では、超高齢化社会の今、介護が必要な
状態になっても生きがいや役割を持って暮
らすことができ、互いに支え合うことがで
きる地域づくりを目指して、平成28年度か
ら介護予防事業「通いの場」を開始しました。

通いの場って何？

「通いの場」は高齢者の皆さんが、日常的に地域の皆さんとふれ合うことができる身近な“地域の居場所”です。「いきいき百歳体操」を中心とした体操教室を通して、高齢者の健康増進と介護予防を図るとともに、地域における交流の場としての役割も期待されています。

町は、「通いの場」の立ち上げを希望する地区にリハビリ専門職や町職員が集会所などを訪問し、体操を指導したり、体力測定を定期的の実施したりしながら、運営をサポートしています。

専門職の派遣期間が終わった後は、自主的な活動として継続していくかどうか各地区に委ねられますが、令和3年までに取り組んだ19地区全てで、「継続したい」という声が上がっており、自主的な活動につながっています。地区によって参加人数や開催頻度は違いますが、運動後に茶話会などを開催している地区もあり、地域の皆さんが互いに交流を深める工夫をしています。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、新たな立ち上げはありませんが、すでに活動している地区では、「通いの場」が新たな“地域の居場所”として受け入れられています。

「通いの場」自主開催地区

令和3年11月現在

	地区	名称	場所	開催日時
藤田地区	本町・大町北町内会	まごころ倶楽部	まごころサービス国見センター	第1・2・3 金曜日 10:00～
	宮町南町内会	元気会	光陽集会所	毎週金曜日 13:30～
	大町南町内会	かたくりの会	まごころサービス国見センター	第1・2・3 水曜日 13:30～
山崎地区	源宗山町内会	たんぼぼ会	源宗山集会所	毎週金曜日 10:00～
	滝山町内会	えがおクラブ	滝山集会所	毎週金曜日 9:30～ 毎週水曜日 10:30～ (2部制)
	耕谷町内会	なかよし会	耕谷集会所	毎週水曜日 13:30～ 毎週金曜日 13:30～ (2部制)
小坂地区	鳥取・内谷町内会	陽だまり	鳥取内谷防災センター	毎週火曜日 13:30～
	小坂・太田川町内会	太陽クラブ	こさかふるさと館	毎週金曜日 10:00～
	前田町内会	前田健康会	前田公民館	毎週金曜日 13:15～
	板橋・板橋南町内会	わくわく体操	国見ニュータウンコミュニティセンター	毎週水曜日 14:00～
	泉田上・中町内会	上中いきいき体操	泉田中集会所	毎週金曜日 13:30～
	泉田下町内会	楽しい会	泉田下多目的集会所	毎週金曜日 10:00～
森江野地区	第1町内会	しゃしゃんと長生きクラブ	第1町内会集会所	毎週金曜日 10:00～
	森山第2町内会	しあわせ健康教室	第2町内会集会所	毎週金曜日 13:30～
	第3町内会	さくら体操クラブ	第3町内会集会所	毎週金曜日 10:00～
	徳江北町内会	さわやか とくほく	徳江北部コミュニティセンター	毎週木曜日 14:00～
	第8・9町内会	にこにこ体操教室	徳江南部公民館	毎週金曜日 13:30～
大枝地区	塚野目地区	塚野目体操クラブ	塚野目集会所	毎週水曜日 9:00～
	西大枝地区	ハッピー体操教室	東部高齢者等活性化センター	毎週金曜日 13:30～



陽だまり

藤田宮前町内会

開催日時 月1回(第4木曜日)
午後1時30分から午後3時
開催場所 藤田光陽集会所
参加費 無料

▲ 茶話会の合間に「いきいき百歳体操」を実践。順番に声を出して体操をします

参加者全員でお祝い

11月25日、藤田光陽集会所で開かれた『陽だまり』。世話人の方たちが準備した焼き芋やお菓子、飲み物が手際よくテーブルの上に並べられます。「今日は寒いね〜」。「焼き芋なんて久しぶり!! おいしそうだこと」。参加者のあいさつが続きます。

会の冒頭では、今月誕生日を迎えた方へのお祝いです。全員で誕生日の歌を歌い、世話人の方からプレゼントが手渡されました。「毎月、参加者の誕生日をお祝いしています。ささやかですがプレゼントも準備して渡しています」と代表の八巻竹治さんが笑顔で語ります。

お互いの近況報告や地域の情報など、茶話会の話題は絶えません。合間には全員で百歳体操や歌謡曲の合唱も行われ、時間を忘れてしまうほどの楽しさです。

さらなる発展を目指して

「みんなで楽しく、集まれる場所があればいいのに…。そんな思いから『くみにみさきえ愛』に参加した大津美代子さんは、当時の町内会長だった



▲ 全員で「北国の春」を合唱

八巻さんに相談。八巻さんは協力者を募り、町内会にも理解を求め、他の地区の事例も参考にしながら、地域の居場所づくりに取り組みました。毎月1回、藤田宮前町内会で開いている『陽だまり』。八巻さんの呼びかけで、4人の世話人とともに平成29年7月に活動が始まりました。主な活動は茶話会で、毎回10人ほどが集まります。

『陽だまり』は皆さんの近況報告をしたり、地域の情報をお互いに交換したりする場でもあります。「堅苦しくなく、困りごとなど、なんでも相談会」のつもりで足を運んでください」と八巻さんは話します。

そして、「今後は若い世代の方にも参加してもらえよう、魅力ある活動を考えていきます」と『陽だまり』のさらなる発展に期待を寄せています。

▼ 大好評だった焼き芋。おいしさに話も弾みます



「町内会のみなさんと楽しくお茶が飲める場所が欲しい」という相談を受けたのがきっかけです。すれ違っただけだった地域の人が、この集まりを通して顔見知りになり、交流が増えました。地区の皆さんと親睦が深まったと感じます。

今後は、年齢に関係なく一人でも多くの人に参加してもらいたいです。気を遣わず、気楽な場所として利用してもらえればうれしいです。



八巻 竹治 さん



▲スタッフ指導のもと体操を行う参加者。参加者に地区の垣根はありません

お互いに助け合う活動の場

まごころサロン

NPO 法人まごころサービス国見センターでは、地域の高齢者の皆さんが気軽に集まり、体操や会話を通してお互いに触れあえる場所を提供するため、「まごころサロン」を開設しています。

『まごころサロン』は、NPO 法人まごころサービス国見センターが施設の一部を開放し、開催しています。月曜日から金曜日の午前中に開催され、居住地区問わず、参加を希望する方たちが集まります。

主な活動は参加者が持ち寄りのお菓子を囲んだ茶話会や、間違い探しやしりとりなどの頭の体操、施設職員やボランティアスタッフの指導のもとでの体操です。

「平成15年の開始以来、一時的に休止したこともありましたが、自然と『また集まりたい』という声が出て再開しました。ボランティアスタッフも含め、取り組みに賛同し、協力してくれる人が増えていきます」と代表の紺野徹さんが笑顔で語ります。

地域とつながる

「絆」はすぐそこに

国見町の「やさえ愛」の輪は、少しずつですが広がりを見せています。地域の皆さんの手によって、各地域に「地域の居場所」が出来上がり、人と人との絆が生まれています。

地域の居場所は、決まったカタチや名前があるものだけではありません。お祭りなどの地域行事や道端での世間話など、地域に住む皆さんが顔を合わせることで、『つながり』を生み、「地域の居場所」が形成されるのです。



▲それぞれが自発的に活動しています

施設利用者や近所の方から、「気軽に集まれる場所が欲しい」という要望があり『まごころサロン』を立ち上げました。これまで無理をして継続しているわけではなく、あくまでも皆さんの要望に応えた結果、皆さんの助けがあり継続できたのだと思っています。

今後は今以上に、地域に根差した取り組みを行っていきたいです。皆さんの要望に応えられるよう常にアンテナを高く張り、皆さんが住みやすい地域を一緒に作っていかたいと思います。このサロンに参加することでお互いに仲間意識を持ち、困ったときに助け合える“共助”の仕組みづくりをしたいと思っています。



紺野 徹 さん

「くにみささえ愛」に参加してみませんか？

『くにみささえ愛』は、地域の皆さんによる“地域づくり”を応援します。

「ありがとう、おたがいさま」と助け合うことができる町を目指し、それぞれの地域にある「支え合い」をみんなで共有し発展させる場です。新たな“地域の居場所”の立ち上げを考えている人や、地域の困りごとを抱えている人など、誰でも自由に参加することができます。

また、令和4年1月より「支え合い」や「居場所」について、希望する町内会で『出前勉強会』を始めます。「地域で支え合いの活動してみたい！」「高齢者が気軽に集まれる居場所があるといいな…」こんな声はありませんか？出前勉強会は国見町の地域の特徴や支え合いについて学び、皆さんが目指す地域について意見交換を行う学習会です。興味のある町内会は事務局までご連絡ください。



福祉課長寿介護係
宍戸 美穂 さん

福祉課長寿介護係 ☎ 585-2125



超高齢化社会へと向かう今、地域が抱える問題は決して「他人事」ではありません。私たち一人ひとりがそれらの問題に正面から向き合う必要があるのではないのでしょうか。

これからずっと、「この国見町に安心して住み続けるために私たちが今、できること、考えてみませんか？」



—令和3年度国見町表彰式—

永年の功績をたたえて



▲表彰式に出席された皆さん

令和3年度国見町表彰式が11月24日、観月台文化センターで行われました。

表彰式では、引地真国見町長が「長年のご出精とあたたかいご本心に心から敬意を表するとともに、これまでの活動を支えてくださったご家族や関係者の皆さまにも感謝申し上げます。今後も種々の課題に取り組む国見町と国見町民のためその卓見をもつて、さらなるご支援をお願いいたします」と式辞を述べ、受賞者を表彰しました。

来賓祝辞の後、受賞者を代表して太田久雄さんが「この感激を忘れることなく、これからの国見町のさらなる発展を願い、力を尽くしてまいります」と謝辞を述べました。

町表彰式は昭和42年以来、町の発展に貢献され、顕著な功績があった方々をたたえるために毎年行われています。

国見町表彰条例に基づき、表彰審査会で審査した結果、今年6個人・1団体が表彰されました。

晴れの 受賞者

特別功勞表彰

太田 久雄 さん

— 地方自治 —

平成24年11月から令和2年11月の2期8年間の永きにわたり国見町長として、福島県に奉職した経験と識見で町民の厚い信頼を得て、議会との連携、協調に努め、地方自治の伸展と発展に貢献されました。

また、東日本大震災・原発事故からの復旧・復興、道の駅国見あつかしの郷の整備など、自立のまちづくりを進めている国見町のさらなる発展に向けて尽力され、今年11月に瑞宝小授章を受章されました。

高橋 忠一 さん

— 消防防災 —

昭和32年5月から平成14年3月まで、45年の永きにわたり国見町消防団員として活動。第2分団第3部部长や第2分団副分団長、分団長を歴任。これまでの地域消防と防災活動が認められ、今年11月に瑞宝単光章を受章されました。

功勞表彰

菅野 和雄 さん

— 地方自治 —

平成18年4月から現在まで、16年の永きにわたり国見町石母田財産区議員として石母田財産区の発展に貢献されています。

齋藤 由美子 さん

— 保健増進 —

平成19年4月から現在まで、15年の永きにわたり国見町健康推進員として、地域福祉の向上に尽力されています。

株式会社 ワンテーパー

— 寄付 —

国見町と令和元年10月25日にパートナーシップ協定を締結。国見町の発展と振興を願い、町に多額の寄付を行い、町勢伸張に貢献されました。

善行表彰

小野 範子 さん

— 献血 —

献血の重要性を深く認識され、積極的に献血事業に協力し、現在100回以上協力されています。

◀ 謝辞を述べる太田さん



特別功勞表彰

町の振興に特別な功勞や特に功績が顕著な方などを表彰するものです。

功勞表彰

町政の発展向上などに寄与し、功績が顕著であった方や多額の金品などを町に寄付した方などを表彰するものです。

善行表彰

多年にわたり奉仕活動や社会教育活動などで住みよいまちづくりに貢献し、他の模範となる方、町に寄付をした方などを表彰するものです。



◀ 功勞表彰を受ける皆さん



◀ 特別功勞表彰を受ける高橋さん

子どもたちがまちづくりを考える

— 令和3年度国見町子ども議会 —



登壇して一般質問をする村上京汰議員



開会宣言をする渡邊さくら議長

総括答弁を行う引地町長

国見町子ども議会が11月18日、国見町の議場で行われました。国見小6年生の児童が子ども議長と議員になり、まちづくりに関する質問や提言をしました。

議長の渡邊さんが議会の開会宣言をする、議員席に座る子ども議員の児童6名は、自分たちで考えたまちづくりに関する一般質問を行いました。個人の夢を実現できるような施設の開設や広い世代で楽しめる外国人にも優しい施設づくり、既存施設の利活用方法や歴史イベントの開催、失業者に向けた施策の提案など幅広い質問に、引地町長や担当課長が丁寧に答弁しました。

傍聴の児童たちも子ども議員の質問や町からの回答を真剣にメモしていました。

町の将来を担う子どもたちが、まちづくりへの関心を高める貴重な機会となりました。

子ども議長：渡邊さくらさん
 子ども議員：野村慧介さん、村上京汰さん
 高橋優依花さん、桜澤來楠さん
 八島奎祐さん、高橋旺我さん

秋の叙勲

令和3年秋の叙勲において、町内から太田久雄さん、高橋忠一さんの2名が荣誉に輝きました。



瑞宝小綬章

おた ひさお
 太田 久雄さん

太田久雄さんは、昭和48年に福島県職員に採用され、郡山市副市長や知事直轄理事を歴任。日赤県支部事務局長を経て、国見町長を平成24年から2期8年務め、東日本大震災後の町の復旧復興に尽力されました。

今回の受章について太田さんは、「大変光栄、本当にありがたい。皆さんに支えられての受章だと思っています。県職員の時代から約半世紀。たくさんの人たちとの出会いがあり、出会った人たちのおかげです」と話され、「積極的に経験を積み、和と連携を大切にしてきました。『先制・和・接点』を座右の銘にして長年公務に取り組んできました。70歳を超えましたが、趣味の野球も継続したいと思っています。これからは皆さんの恩に報いるべく、ボランティアなどの社会貢献活動を行いたい。若い人たちに自分の経験を伝えていくような活動も計画しています」とこれまでの公務人生を振り返り、今後の抱負なども述べられました。

高橋忠一さんは、昭和32年から平成14年まで、45年の永きにわたり町消防団員として第2分団副分団長、分団長などを歴任。町の地域消防と防災活動に尽力されました。

今回の受章について高橋さんは、「受章の連絡が来たときは驚きました。自分ひとりでは受章できない、周囲の人たちに支えられてのこと。『感謝』という言葉しか浮かびませんでした」と今回の受章について話され、「小さい頃から地域の方々にはお世話になりました。その『恩返し』をしたいという思いが強かったです。平成10年の水害の際には、阿武隈川の堤防で2泊3日の水量調査を任せられました。堤防の縁まで水が迫り、立っていた堤防が揺れていたことは今でも鮮明に思い出されます」とこれまでの消防人生を振り返りました。「今後は地域の方に迷惑をかけないように、自分にできることをしながら恩返しをしていきたい」と今後の抱負も述べられました。



瑞宝単光章

たかはし ただいち
 高橋 忠一さん

アレックス先生よろしくお願いします

— 新しいALTの先生が着任しました —



授業を行うアレックス先生（県北中1年）

新しい英語指導助手として、アレックス・ブロウ先生が着任しました。アレックス先生は11月から、国見町の子どもたちに英語指導を行っています。

アレックス先生からのメッセージを紹介します。

皆さん、はじめまして。私はアレックス・ブロウと申します。カナダのモンリオール市からまいりました。26歳です。大学で心理学を学びました。初めて日本を訪れました。子どもの時から、日本に行きたいと思っていました。特に国見町に来ることができて良かったです。うれしくて楽しみです。

私は語学が好きです。学生の時にフランス語やスペイン語、中国語やアラビア語を勉強しました。中でも、日本語が一番興味があります。日本の文化にも興味があります。書道や三味線、太鼓をしてみたいです。ここで皆さんとともにいろいろなことを学びたいです。

誰でも気軽に私に話かけてください。私は日本語で皆さんの間違いをしようのですが、頑張ります。よろしくお願いします!!



Buault・Alexandria (アレックス・ブロウ)
 カナダ・モンリオール市出身 26歳

あつかし山 ビッグツリー

点灯期間

2021.12.19(日)

— 2022.1.5(水)

あつかし山 ビッグツリー点灯式

日時 2021.12.19(日)16:45—

会場 道の駅国見あつかしの郷

点灯・花火打上 17:00—

花火打上場所は人の密集を避けるため
非公表といたします。

国見町商工会青年部による子どもたち
お菓子のプレゼント!! (限定50個)

主催 明日へ。ビッグツリー・イルミネーション実行委員会 (国見町産業振興課) TEL024-585-2238

詳しくはコチラ⇒
【国見町ごみの出し方ルール】



ごみ出しルールの確認

—生活環境を見直し、ルールを守りましょう—

※ごみの分別や出し方のルールなど、不明な点は問い合わせください。



可燃ゴミ

指定の「燃やせるごみ」専用の袋を使用し、袋に氏名を記入



不燃ゴミ

- ・指定の容器（クリーンボックス）を使用
- ・スプレー缶などは中身を使い切り、穴を開ける
- ・アルミ缶は資源物へ



粗大ごみ

- ・回収日の前日までに住民防災課環境防災係まで申し込み
(申し込みがあったごみ置き場のみ回収します)
- ・事故防止のため、ストーブ等の石油は抜く
- ・針金やコード類は粗大ごみへ



リサイクル品

◎指定の「資源」専用の袋を使用し、袋に氏名を記入

○プラスチック製容器包装

- ・「プラ」マークが付いているものに限る
※汚れを水で落とししてください。
- ・汚れが落ちない場合やプラスチック製品
そのものはもやせるごみへ

○ペットボトル

- ・「PET」マークが付いているものに限る
- ・キャップとラベルを取り、中を水ですすぎ、水
を切る（キャップ、ラベルはプラスチック製容
器包装へ）

○ガラスびん

- ・「無色」「茶色」「その他」の3色に分別
(びんの口元で色を判断、光に透かすと
分かりやすい)
- ・フタは取り、それぞれ分別

○リサイクル品

- ・各町内会に1箇所設置してあるリサイクルステーションへ
- ・一升びん、ビールびん、ジュースびんなど繰り返し使用できるものが対象
- ・アルミ缶は透明な袋であれば、資源用袋でなくてもOK
- ・段ボール、新聞紙、雑誌、牛乳パックはそれぞれヒモで十字に縛る



その他のごみ

○小型家電リサイクル法対象品

- ・データを削除し、役場庁舎・観月台文化センター・コープマート国見店などに設置している黄色
の回収ボックスへ ※ボックスに入らない小型家電は特別回収時に持参してください。(時期は広
報等でお知らせします。)

○ごみに出せないもの

- ・家電リサイクル法対象品（エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機など）は家電販売店へ依頼
- ・消火器、タイヤ、バッテリー、自動車部品、珪藻土製品、育苗箱などは販売業者へ引き取り依頼
- ・コンクリートガラ、土砂、農業用廃ビニール、家屋廃材などは産業廃棄物処分業者へ依頼
※その他、判断のつかないものについては問い合わせください。

ごみを出す際の注意点!!

- ・「もやせるごみ」の中に「もやせないごみ」が入っていることが多くあります。収集車両が破損または火災が発生し人的被害が
発生するなど、重大な事故につながる恐れがあるので、ごみの分別は適切に行ってください。
- ・分別が不十分で回収されなかったごみ袋があったために、ごみ置き場付近の美観が損なわれています。また、ごみ袋に名前が
記入されていないことが多く、ごみ置き場の管理者が誰のものか分からず困っています。ごみ出しのルールを守るためにも、全
てのごみ袋に氏名を記入してください。
- ・「プラスチック製容器包装」には、納豆パックやマヨネーズの容器、総菜が入っていた油污れのひどいトレイなどは、洗剤などで
洗わず「もやせるごみ」として出してください。ほかの資源物に汚れが移り、資源としての価値がなくなってしまいます。

国見町は、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」を進めています。このコーナーでは町や地域が行っている取り組みについて、毎月お伝えしています。

【企画調整課地域振興係 ☎ 585-2967】
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】



源頼朝 対 奥州藤原氏の最終決戦場「阿津賀志山防塁（二重堀）」について

今月は、源頼朝と奥州藤原氏の最終決戦「阿津賀志山の戦い」で、頼朝軍を迎え撃つために藤原軍が築いた「阿津賀志山防塁（^{ふたえぼり}二重堀）」を掘り下げます。

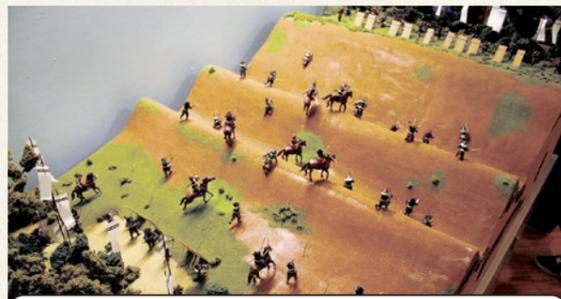
厚樫山防塁とはなにか？

阿津賀志山防塁とは、侵攻してくる敵軍の動きを鈍らせ、侵入を防ぐために作られた防御施設です。阿津賀志山の中腹から阿武隈川まで約3.2キロ（堀の深さ4~5m）にわたって築かれました。

福岡県太宰府市の水城防塁、福岡市の元寇防塁と並んで日本三大防塁の一つであり、別名「二重堀」と呼ばれています。



阿津賀志山防塁ジオラマ（あつかし歴史館展示）



東京ドーム5個分もあったという二重堀

防塁を築くに至った背景

100年近く平穏な時を過ごしてきた奥州の人々は、頼朝軍と比べて戦の経験が不足していました。

また、頼朝の命により全国各地から集められた武士は28万ほどと伝えられ、藤原軍に比べて圧倒的な兵力がありました。

藤原泰衡はこれらの戦力的な不利を補うための打開策として、防塁を築くことにしたのです。

なぜ国見町に防塁が築かれたのか？

1. 泰衡の兄、藤原国衡を総大将として陣を構えた大木戸周辺は、山を背にして頼朝軍の動きを見渡することができるなど、防御に有利な地形だった。
2. 阿津賀志山のふもとは、貝田と宮城県越河との間の地狭部であり、頼朝軍の進行を遮断することが可能な地点だった。
3. 阿津賀志山周辺は、泰衡が最も信頼していた家臣佐藤基治の領地で、防塁構築と軍事両面の協力が得られた。

以上の要因で防塁の場所が選ばれたと考えられますが、結果として頼朝軍の勝利となります。しかし、堀の二重構造は当時の英知を最大限に生かした防御施設として非常に先進的であったと伝えられています。

町おこしをむねに…貝田宿屋号めぐり ～国見町郷土史研究会 主催～

11月14日、旧奥州街道貝田宿をめぐり催しが行われました。80人を超える多くの方が参加し、江戸時代から引き継がれてきた貝田宿の屋号を散策しました。

特に、国登録有形文化財の登録を目指している松田家住宅では、子どもたちによる日本舞踊が行われ、多くの観客の感動を呼びました。



地域おこし協力隊
逢坂 巴菜子

地域おこし協力隊活動日記 vol.15

子どもたちと共に挑戦し、成長していきたい



こんにちは、地域おこし協力隊の逢坂巴菜子です。国見に移住してから、早くも4か月が経ちました。半田山の紅葉も色づき、季節の変わり目をひしひしと感じています。

現在、私は「放課後塾ハル」の中学部のスタッフを務めさせていただいています。10月から中学3年生に加え中学1・2年生の授業が始まり、ハルでは毎日生徒たちのにぎやかな声が響いています。中学3年生は11月になり本格的に受験勉強がスタートし、生徒たちにとって初めての「受験」という大きなチャレンジに向かっていきます。

私は「放課後塾ハル」という場所を通じて、生徒たちが自分自身の可能性を信じ抜く人になってほしいと考えています。生徒たちが勉強を通して成功体験を積むことで自信を持ち、どんなチャレンジにも臆することない大人になってほしいと願っています。そのためにはまず、自分たちがたくさんのごことに挑戦し続け、背中を見せることが大切だと考えています。私自身、まだまだ至らない点がありますが、生徒たちと真剣に向き合い共に成長していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



☎企画調整課総合政策係 585-2217

せと けんすけ

まつだ るあ

たかはし しゅうと

やしま みゆ

くにみ幼稚園（年中組・フクロウ）

おさなまオタタ



おいしいバナナをありがとうございます

寒さに負けずに頑張っ!! 伊達果実が子どもたちにバナナをプレゼント

伊達果実農業協同組合（佐藤邦雄代表理事組合長）が11月17日、町内の保育所、幼稚園、小学校、中学校の子どもたちへバナナを贈りました。贈呈式は国見小学校の昼の校内放送で放映され、佐藤組合長が「バナナを食べて、冬の寒さに負けず勉強もスポーツも頑張ってください」と児童代表に呼びかけながら手渡しました。



スタッフの説明を聴く内堀雅雄福島県知事（左）

チャレンジふくしま訪問 内堀県知事が放課後塾ハルを視察

内堀雅雄福島県知事が11月17日に国見町を訪れ、放課後塾ハルを視察しました。視察には三好菜月塾長をはじめ、塾のスタッフである地域おこし協力隊員4名が参加。三好塾長が放課後塾ハルの事業説明や今後の展開について説明すると、内堀知事は子どもたちの様子やこれまでの振り返りなど、熱心に質問をしていました。



花束を手に笑顔の鈴木ノブさん

元気に長生きしてください 鈴木ノブさん 100歳のお祝い

11月18日、100歳を迎えた鈴木ノブさんへ県知事賀寿と町敬老祝金が贈られました。引地真町長が自宅を訪問し、知事賀寿と敬老祝金、花束をそれぞれ手渡し100歳を祝いました。鈴木さんの一番の楽しみは「よく笑い、ご飯を美味しく食べること」だそうです。これからもお元気で。



世界平和の願いを込めて描いた作品が並びました

世界の平和を願って 国際平和ポスター展示

国見ライオンズクラブ（紺野徹会長）主催の国際平和ポスター展が11月24日まで福島信用金庫国見支店で開かれました。ライオンズクラブは毎年、世界の子供たちに平和の大切さを知ってもらうため、「平和ポスター・コンテスト」を行っています。今年は国見小学校、県北中学校の子どもたちが描いた16作品が展示されました。



力強い走りを見せた7区の鎌水裕人選手（右）

仲間を信じてタスキを繋ぐ 第33回ふくしま駅伝

第33回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会が11月21日、白河市総合陸上競技場から福島県庁までの16区間95kmで繰り広げられました。県内市町村から50チームが出場し、晩秋の福島路を駆け抜けました。

国見町チームは各選手が粘り強い走りでもタスキを繋ぎ、5時間55分9秒で総合41位、町の部21位の成績を収めました。



金色有功章を受章した小野範子さん

100回の献血に協力 日本赤十字社金色有功章

献血100回を達成し、日本赤十字社金色有功章を受章した小野範子さんへの伝達式が10月25日、国見町役場で行われました。受章した小野さんは「献血は高校生のころから行ってきました。献血できるのは健康な証拠。自分の健康が続く限り、続けていきたいです」と抱負を語りました。



平和な町づくりを誓いました

終戦から76年 国見町戦没者追悼式・慰霊祭を挙行

令和3年度国見町戦没者追悼式及び慰霊祭が11月4日、香雲堂斎場で行われました。

式では黙祷の後、引地町長が「戦没された方々の思いを後世に伝え、悲惨な戦争を二度と繰り返さず、平和な町づくりに尽力します」と述べました。その後は献花も行われ、戦没者の冥福を祈り、恒久平和を願いました。



勝利に向け意気込みを見せる選手の皆さん

国見町青少年育成町民会議 奨励金交付式

国見町青少年育成町民会議（引地真会長）は11月8日、大会に出場する児童生徒に奨励金を交付しました。【第41回福島県中学校新人ソフトテニス大会】男子個人▶引地英太、オスタフィエ拓海 女子個人▶佐藤来未、寺島結菜、佐藤優心、秋葉莉奈、菊地瑠菜、齋藤萌那子【第31回学校対抗福島県中学新人ソフトテニス大会】女子団体▶佐藤来未ほか7名



黒板にメッセージを書き込む新成人ら

ハタチの思い出づくりに 晴れ photo2021 in くにみ

11月20日、「晴れ photo2021 in くにみ」が観月台文化センターで開催されました。黒板や机による教室の再現や生花で装飾された撮影スタジオが用意されるなど、「SNS映え」するフォトスペースが多数設置されました。また、スライドショーに小学生当時の写真が映し出されると、訪れた新成人らは当時を懐かしみ、時間を忘れて思い出話に花を咲かせていました。



和食給食を食べる県北中3年生

日本の素晴らしい食文化を知って 学校給食で「和食給食」を提供

11月10日、日本文化の一つである和食が学校給食で提供されました。道の駅くにみあつかしの郷「レストラン桃花亭」料理長の石橋勝さんが和食献立を考案。町産のりんごを使用した「白身魚のフライ・りんごみそソースかけ」など、町産の食材をふんだんに使用した料理が並びました。県北中学校の3年生には、黒盆、黒椀などの和食器で給食が提供されました。

国見町子育て世代包括支援センター

ももさぽインフォメーション

ニコニコ相談会

- 実施日** 令和4年2月16日(木)
- 時間** 午前10時～午前11時
- 会場** 子育て支援センター(藤田保育所内)
- 対象者** 国見町在住の妊婦
国見町在住の乳児及び保護者
- 持ち物** 母子健康手帳、お子さんの飲み物
- 申込み** 前日までにほけん課保健係又は藤田保育所(☎585-2374)へ連絡

乳児健診

- 実施日** 令和4年2月24日(木)
- 受付時間** 午後1時15分～午後1時45分
- 会場** 観月台文化センター 第1和室
- 対象者** 3か月児(令和3年10月生まれ)
9か月児(令和3年4月生まれ)
- 持ち物** 母子健康手帳、オムツなど
- 内容** 医師の診察、身体測定、調乳、離乳、予防接種などについて

クリスマスツリーをかざろう!!

役場庁舎1階キッズ広場に切り絵のクリスマスツリーが登場しました。自分好みのかわいいキャラクターの飾りを作って、みんなで素敵なクリスマスツリーを作りましょう。

飾りは、ほけん課保健係の窓口でお渡ししています。

- ・受付時間：午前9時～午後4時30分まで
- ・掲示期間：12月27日(木)まで



保健 だより



ほけん課 保健係 ☎585-2783
E-mail:hoken@town.kunimi.fukushima.jp

健康づくりの強い味方『InBody』

令和3年9月に導入した体成分分析装置InBodyは、これまで約140名の方々に測定をしていただきました。すでに、InBodyを健康づくりのパートナーとして定期的に計測に来る方もいて、InBodyとスマートフォンを連動して自分の体成分のデータを蓄積し、生活習慣の見直しに利用されているようです。まだ測定されていない方はぜひ一度、ご自分の「体成分」を評価してみませんか？

【InBodyのここがすごい!!】

InBodyの特徴は、体を5つの部位(両腕・体幹・両脚)に分けて測定できることです。筋肉の少ない部分がないか、上下左右のバランスが崩れていないかなどを評価できます。左右の筋肉量の差は、体のゆがみによる「腰痛」や体の重心の傾きによる「転倒リスクの高まり」に繋がります。



インフルエンザ予防接種助成期間延長のお知らせ

インフルエンザワクチンの供給が不安定なため、令和3年度に限り助成期間を延長します。接種を希望される方は、事前に医療機関に予約をお願いします。

- 対象者
 - ・生後6か月～18歳(高校3年生相当)の方
 - ・妊婦
 - ・接種時65歳以上の方
 - ・接種時60歳以上65歳未満の方で、心臓・腎臓・呼吸器などに慢性の重い障害があり、身体障害者手帳1級に相当する方

■助成期間 令和4年1月22日(木)まで

食育シリーズ



町では、食生活改善推進員のみなさんと栄養士が、くにみ幼稚園の子どもたちを対象に食育教室を開催しています。11月は年少児が「食事のマナー」について学びました。



院長先生の診察室から

【第2回】



公立藤田総合病院院長
近藤 祐一郎 先生

半 田山の紅葉が終わり、冬の足音が聞こえてきました。新型コロナウイルス感染症第5波が収束し、冬の到来とともに第6波が懸念されています。今後のワクチン接種計画・内服薬が発表され、収束への道筋が見えてきたようです。一方、10月福島県でメタボリック症候群に該当した県民の割合が18.4%(全国平均15.9%)で、過去最悪のワースト4位(1位沖縄、2位秋田、3位宮城)でした。メタボリック症候群は糖尿病や脳梗塞・心筋梗塞を発症する危険因子です。日常の食生活や運動不足に注意し、毎日体重を測定しましょう。各人が生活習慣を見直して健康な生活を過ごしたいものです。2022年寅年が皆さまにとって良い年でありますよう、祈念しております。





みんなで記念撮影（後列左から田邊さん・上神田さん、前列中央が三好さん）

「アカリ」について知ろう

国見ジュニア応援団

令和3年度チャレンジ！子どもがふみだす体験活動応援事業「国見ジュニア応援団」の第6回活動が行われました。

活動では学びの複合施設アカリを訪問し、家守舎桃ノ音代表の上神田健太さん、地域おこし協力隊の三好菜月さんと田邊愛恵さんから話を聞きました。

子どもたちはアカリが作られた目的や放課後塾ハルの話を熱心に聞き入り、積極的に質問をしながら学んでいました。

その後はiPadを使い、アカリ紹介動画の作成に取り組みました。慣れない動画編集に四苦八苦しながらも、徐々にコツをつかんだ様子で一懸命取り組みました。

宝くじ文化公演



2022年 2月2日水 国見町親月台文化センター

全席指定 (当日2,500円)

宝くじの助成により、特別料金になっています。

※未成年者の同伴、入場はご遠慮ください。

※前売券で先売りの場合、抽籤日の販売はありません。

主催：国見町／国見町教育委員会／(一財)自治総合センター

新売期間 12/4 まで

秋の野外活動 少年仲間づくり教室

少年仲間づくり教室第7回活動は、11月13日に福島市「小鳥の森」で教室生27名が参加し、自然体験を行いました。

自然観察は、レンジャーの案内により「シジユウカラの小径」を散策。落ち葉やドングリ、小鳥の巣箱、キツツキの巣穴などを観察。見晴らし台からは阿武隈川の親水公園を見渡し、白鳥の飛来情報などを興味深く聞きました。

木工クラブでは、ネイチャーセンター職員の説明を聞き、松ぼっくりやドングリを使って、「松ぼっくりツリー」を作りました。

教室生は、それぞれの感性でさまざまな作品を作り上げました。

好天に恵まれ、秋の野外活動を楽しむことができました。



みんなで楽しく「小鳥の森」を散策しました

町長就任から1年を振り返って 三学級合同学習「町長講話」

阿津賀志学級成人学級・くにみ女性教室合同の三学級合同学習「町長講話」が11月11日、親月台文化センターで開かれました。引地真町長が、人口減少や少子高齢化が進む町の活性化に向けて、町長就任から1年を振り返りました。

町長は、企業誘致や若者の定住、農業の活性化など町が抱える問題を具体的に説明し、協力し合いながら町づくりを進めていきたいと話しかけました。



就任後の1年を振り返る引地真町長



秋空のもと健脚を競いました

上野台運動公園を基点とし、6区間12.4kmを駆け巡る第45回国見町駅伝競走大会が10月31日に開催されました。今大会は12チームが出場し、各チームが優勝を目指して紅葉が映える上野台運動公園周辺のコースを力走しました。レースは首位が何度も入れ替わる接戦となり、「伊達消防」が大接戦を制し優勝しました。

- ◆優勝…伊達消防 (46分19秒)
- 準優勝…藤田B (47分56秒)
- 第3位…大木戸スポーツ振興会弁慶チーム (49分13秒)
- ◆区間賞…①菅野達朗 (伊達消防)
- ②武田実梨 (藤田A)
- ③勝山智博 (藤田A)
- ④田口幸一 (佐川急便)
- ⑤佐藤裕紀 (大木戸弁慶)
- ⑥横山元基 (伊達消防)



親子で楽しんだ「お買い物すごろく」

地域学校協働本部事業「親子で学ぶキッズマネー教室」が11月3日に行われ、小学生親子7組15名が参加しました。



教室では、知るポルト福島のアインナンシャルプランナー田崎由子氏を講師に招き、決められた予算の中で必要なものを購入していく「お買い物すごろく」ゲームや、お金をテーマにしたDVD「びまる子ちゃん」のDVD鑑賞を行い、親子で楽しくお金の大切さについて学習しました。

親子で学ぶキッズマネー教室

お金の大切さについて学びました



国見町教育委員会生涯学習課
(親月台文化センター)
☎(585)2676 FAX(585)2707
E-mail shogai@town.kunimi.fukushima.jp
https://www.town.kunimi.fukushima.jp/site/kangetsudai/

リュッケじかん LYKKE 時間

第33話「穏やかなクリスマスの時間」

12月にフィンランドの保育園を訪ねた時、先生方が園内のクリスマス部屋へ案内してくれました。薄暗いその部屋は椅子と机、もみの木が置かれた、静かな空間でした。赤や緑の華やかな飾りに慣れていた私が装飾の物足りなさを伝えると、先生方は「子ども達が落ち着いてクリスマスを迎えるには十分よ!」と笑顔で話してくれました。別の機会に、フィンランドの友人にクリスマスの過ごし方を聞いてみると、やはり「落ち着けるかどうかが大事よ!」という言葉が返ってきました。穏やかさを愛でるフィンランドらしい、クリスマスの過ごし方です。



フィンランド 国際空港内のクリスマスキャビン

文：柴田千賀子 (国見町出身の保育研究者。仙台大学教授)

お知らせ

一部損壊住宅修理支援事業の申請期限が迫る

令和3年福島県沖地震により、準半壊に至らない被害（一部損壊）を受けた世帯が、日常生活に必要な最小限度の部分を応急的に修理した場合（20万円以上、費用の一部を支給する（定額10万円）一部損壊住宅修理支援事業について、申請期限は次のとおりです。対象となる方で申請が済んでいない場合は申請をお願いします。

▼申請期限 令和4年1月31日(日)
町建設課管理係
☎585・2972

家屋を取り壊したら「滅失届」が必要ですよ!!

固定資産税は毎年1月1日を基準として課税しています。令和3年中に固定資産税の課税対象となつてい

農業委員会

12月の農業委員会定例会は次のとおりです。傍聴においでください。

◆日時 12月15日(木) 午後2時30分から
◆場所 役場2階 大会議室

☎農業委員会事務局 ☎585-2890

教育委員会

12月の教育委員会定例会は次のとおりです。傍聴においでください。

◆日時 12月10日(金) 午後5時15分から
◆場所 観月台文化センター 第1会議室
◆案件 決まり次第、町HPに掲載します。

※傍聴希望の方は事前に連絡をお願いします。

☎学校教育課 ☎585-2892

1月の各種相談会

『障がい者相談』

◆日時 1月18日(木) 午前10時～午後4時
◆場所 観月台文化センター 第2和室
◆相談員 NPO法人「ひびきの会」

『心配ごと相談』

◆日時 1月13日(木)、1月27日(木) 午前9時～正午
◆場所 観月台文化センター 第2和室
◆相談員 民生児童委員

※秘密は厳守、相談無料です。

☎福祉課社会福祉係 ☎585-2793

『国見町結婚世話やき人 月例相談会』

◆日時 1月23日(水) 午前10時～午後2時
◆場所 観月台文化センター 第2研修室

水害や土砂災害から命を守りましょう

水害や土砂災害から自分や大切なひとの命を守るためには、自分にあつた避難行動「マイ避難」の準備が重要です。

福島県では、速やかな避難を行うための自分や家族の避難計画（マイ避難シート）をパソコンやスマートフォンからでも作成できる専用サイトを開設しました。いざという時に備え、マイ避難シートを作成してみましょう。



「マイ避難シート」専用サイト

☎ 住民防災課環境防災係 ☎585・2116

「福島県環境アプリ」を活用しましょう

福島県は、地球にやさしい福島県を実現するため、「福島県環境アプリ」の本格運用を開始しました。お住まいの地域のごみ収集カレンダーを確認できたり、貯まったポイントで福島県産品などが当たる抽選に応募できます。詳細は福島県のホームページを確認してください。



「福島県環境アプリ」ダウンロード

☎ 福島県環境アプリ運営事務局（株）ロコガイド ☎03・6368・1013

福島県最低賃金改正

福島県の最低賃金が10月1日から時間額828円に改正されました。福島県最低賃金は、常用・臨時・パートタイマー・ア

出前講座のご案内

ルバイト等の名称にかかわらず、県内の全ての労働者に適用され、使用者はその金額以上を支払わなければならないと。雇用者も労働者も、必ず確認しましょう。☎536・4604

財務省東北財務局福島財務事務所では、地域のコミュニティ活動や各種団体の会合などに伺い、「おこづかい帳をつけよう」「日本の財政を考えよう」「お金の知識について～キャッシュレス時代のお金の知識～」「家計管理と資金計画」「金融犯罪（なりすまし詐欺等）被害防止」など、さまざまなテーマで小学生から高齢者の皆さまを対象に出前講座を行っています。費用は一切かかりませんので、気軽に問い合わせください。☎535・0301

マイナンバーカードに関するお知らせ

12月のマイナンバーカード休日臨時窓口は次のとおりです。まだマイナンバーカードを持っていない方は、この機会にぜひマイナンバーカードを作りましょう。

■日時 12月26日(日) 午前9時～午後4時
■受付場所 住民防災課戸籍係（緑の窓口1番）

☎住民防災課戸籍係 ☎585-2115

エルタックス eLTAX 地方税の電子総窓口 インターネットで簡単手続き!!
自宅やオフィスから地方税が納付できます
給与支払報告書・源泉徴収票を一括提出できます
複数の地方公共団体へ一括提出できます
eLTAXは無料で利用できます
※詳しくは問合せください。 ☎585-2778

『広報くにみ』を もっと身近に! スマートフォンやタブレット端末などで、いつでもどこでも簡単に「広報くにみ」を読むことができるよう「マチイロ」 「マイ広報紙」を導入しています。ぜひ、活用ください。

マチイロ マチを好きになるアプリ
ダウンロードはこちら/
App Store からダウンロード
Google Play で手に入れよう

- ☑スマートフォンやタブレット端末専用のアプリ。広報紙のページそのままのレイアウトで、ページをめくる感覚で読むことができます。
☑初期設定でお住まいのエリアを「福島県国見町」に設定すると、広報紙のほかに町ウェブサイトの新着情報なども届きます。
☑配信対象：広報くにみ、議会だより

市区町村の広報紙をネットやスマホで
マイ広報紙
ホームページにアクセス/

- ☑広報紙を記事カテゴリごとに分割してデータ化し、インターネットで無料配信するサービス。
☑写真やイラストは表示されないため、記事(文章)のみを読みたい場合に適しています。
☑配信対象：広報くにみ、お知らせ版



年末の大掃除は計画的に

年末年始はごみ収集が休みとなりますので、計画的にゴミ出しを行い、スッキリとして新年を迎えましょう。

町による収集

年 末	藤田市街地	12月29日(日)まで
	上記以外	12月30日(日)まで
年 始	藤田市街地	1月4日(日)から
	上記以外	1月4日(日)から
粗大ごみ		12月15日(日) (年内最終)
		1月5日(日)

※粗大ごみを出す際は、収集日の前日（平日の午前8時30分から午後5時15分）までに、品目と数量、ごみ置き場の番号を住民防災課へ連絡ください。

ごみ出しルールとマナーを守りましょう。
収集日・分別区分を守り、ごみを出してください。

伊達地方衛生処理組合清掃センターへ直接搬入する場合

年 末	12月30日(日)まで
年 始	1月4日(日)から
受付時間	午前8時40分～午前11時30分 午後1時～午後4時
	※12月30日のみ午後3時まで

☎住民防災課環境防災係 ☎585-2116

今月の納期限は12月27日(日)です 忘れずに納めましょう

町県民税（普通徴収） ☎ 税務課収納係 ☎585-2780	第4期
国民健康保険税（普通徴収） 後期高齢者医療保険料（普通徴収） ☎ ほけん課国保係 ☎585-2785	第6期 第5期
介護保険料（普通徴収） ☎ 福祉課長寿介護係 ☎585-2125	第6期

納め忘れにご注意ください

納め忘れがあると、督促状が届いたり延滞金が発生したりするので、期限までに納めてください。
なお、町県民税と国民健康保険税は、コンビニやスマートフォン決済でも納付できます。（口座振替申込者を除く）

※町ではTwitterで納期限をお知らせしています。

- ・国見町公式 Twitter (納期限のお知らせ)
- ・スマートフォン決済 (町税等) について



※納付書で納付する方は、最寄りの金融機関で納めてください。口座振替の方は、納期限の前日までに残高の確認をお願いします。

人口と世帯

令和3年10月31日現在

※住民基本台帳人口

人口	8,636 人	(-17)
男	4,153 人	(-4)
女	4,483 人	(-13)
世帯	3,404 世帯	(-4)

「晴れ photo2021 in くにみ」に参加してくれた阿部仁美さん(右)と佐藤雪音さんは、昨年新人になりました。2人は新潟市と仙台市の大学に在学中。昨年度の成人式で再会予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で成人式は中止に。高校を卒業して以来、約2年半ぶりに再会したそうです。

「将来は国見町に貢献できるような人間になるため、大学で学んでいます。」と力強く語ってくれた2人。国見町の明るい未来が目に浮かびました。

新型コロナウイルス感染症が少しずつ収束に向かい始めています。令和4年度の成人式は、現時点で開催予定です。来年の1月9日、新成人たちの希望に満ちた笑顔が見られることを願っています。

(N・S)

今月の表紙

1月の休日当番医 (診療時間：午前9時～午後5時)

当番日	医療機関名	電話番号
1日(土)	(医) 小野寺整形外科医院 (伊達市保原町上保原寺前 2-7)	☎575-2001
2日(日)	北福島医療センター (伊達市箱崎東 23-1)	☎551-0551
3日(月)	梁川医院 (伊達市梁川町東土橋 8)	☎577-2155
9日(日)	井上内科クリニック (桑折町谷地石塚 15)	☎581-2202
10日(月)	(医) 村上医院 (国見町藤田北 11-1)	☎585-2152
16日(日)	大木内科クリニック (伊達市保原町本町 4)	☎575-3343
23日(日)	(医) 大山クリニック (伊達市北後 13-1)	☎583-2136
	(医) 伊藤皮フ科クリニック (伊達市岡前 20-1)	☎551-1121
30日(日)	(医) おの整形外科クリニック (伊達市梁川町西土橋 120)	☎527-1055

※当番医が変更になる場合や診療していない科もありますので、事前に電話で確認のうえ、受診してください。

戸籍の窓口

10月21日～11月20日受付分

【当町窓口で受付した方で、町内に住所を有する方を掲載しています】

● 誕生おめでとう ●

佐久間^{れいか}伶奏ちゃん (駅 前)
法仁さん 真由さん

古賀^{りおん}凛織ちゃん (錦 町)
怜さん 優芽さん

● 結婚おめでとう ●

佐藤 涼太さん (宮 東)
高橋 侑花さん

● おくやみ申し上げます ●

石川 カツさん	102	(国見の里)
平舘 吉巳さん	97	(大町北)
岡本 真策さん	103	(小坂)
村上 徳一さん	84	(第8)
安藤さゆりさん	66	(宮東)
一條 保久さん	78	(石母田東)
蓬田 道郎さん	90	(第9)
高橋 昇さん	89	(大町南)
佐久間友一さん	73	(第1)
山田 和美さん	87	(前田)
菊地アキノさん	91	(藤田宮前)

掲載を希望されない方は、届出の際にお申し出ください。

- 12/10 金 ・広報くにみ 12月号発行日
・いきいきサロン第8・第9 (午後1時半～)
- 11 土
- 12 日 ・子どもの読書活動推進フォーラム
- 13 月 ・いきいきサロン山崎 (午後1時半～)
- 14 火 ・移動図書館 (3年生)
- 15 水 ・粗大ごみ収集日
・いきいきサロン第1 (午後1時半～)
・ニコニコ相談会 (親月台文化センター)
・くにみ女性教室 (料理)
・いきいきサロン石母田 (午前10時～)
第2 (午後1時半～)
- 16 木 ・移動図書館 (1年生)
- 17 金 ・いきいきサロン大木戸 (午後1時半～)
- 18 土 ・国見っ子わんぱく広場
- 19 日 ・国見町青少年健全育成推進町民大会
- 20 月 ・いきいきサロン板橋 (午前10時～)
泉田下 (午後1時半～)
・いきいきサロン山根 (午前10時～)
徳北・第7 (午後1時半～)
- 21 火 ・障がい者相談
・いきいきサロン高城 (午前10時～)
貝田 (午後1時半～)
- 22 水 ・イキイキ子育てクラブ
・終活・相続講座 (3回目)
・いきいきサロン泉田中 (午前10時～)
大枝 (午後1時半～)
・乳幼児健診 (3・9か月)
・心配ごと相談
- 23 木 ・ブックスタート
- 24 金 ・いきいきサロン源宗山 (午前10時～)
光明寺 (午後1時半～)
- 25 土 ・ジュニア応援団
- 26 日 ・結婚世話やき人相談会
- 27 月
- 28 火
- 29 水
- 30 木
- 31 金
- 1/1 土
- 2 日
- 3 月
- 4 火 ・いきいきサロン 内谷・鳥取 (午後1時半～)
・粗大ごみ収集日
- 5 水 ・いきいきサロン太田川 (午後1時半～)
- 6 木 ・いきいきサロン塚野目 (午後1時半～)
- 7 金 ・いきいきサロン第4 (午後1時半～)
- 8 土
- 9 日 ・成人式
- 10 月 ・成人の日
・3歳6か月児健診
- 11 火 ・休館日

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため記載の各種事業やイベントなどが中止・延期となる場合があります。最新情報については町ホームページ又は担当課などへ確認してください。

国見の輝き人

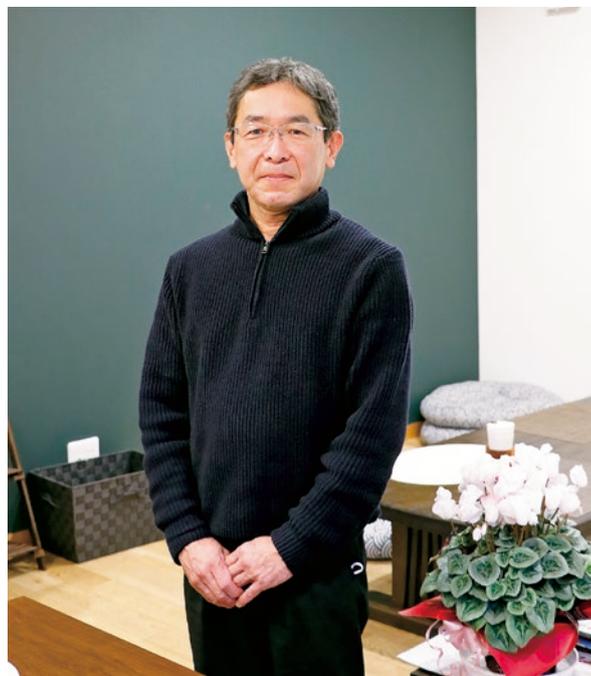
食を通じて喜びを提供したい —

よしのり
井内 良則 さん (板橋南)

私は食品関係の仕事に30年近く就いていましたが、自分らしくやりたいことをやってみたくて強く思うようになり、早期退職を決意しました。最初は地ビールやワインを作って販売しようと思いましたが、酒類製造の要件が厳しく断念せざるを得ませんでした。ですが、どうしても夢を諦めきれずにいたところ、「どぶろく特区」という制度があることを知りました。そこで、町内にお店を開くことを条件に、町にどぶろく特区の申請をしてもらいました。そして昨年、特区に認定され、私の料理修行や店舗建設など約1年の準備期間を経て、9月16日に「彩季亭」がオープンしました。

「彩季亭」で提供している「あつかしのどぶろく」には自分たちで作った町内産のコシヒカリを使用しています。近隣市町村でもどぶろくを製造していますが、品質や味ではどこにも負けないと自信を持っています。遠方から来てくれる方も増えてきているので、より良いものを提供できるように研究を重ねていきたいです。経営が軌道に乗り生産体制が整えば、将来的に県外や国外に販路を広げたいと思っています。「彩季亭」では、どぶろくだけでなく町内産の食材を使った料理も多く提供しています。町のPRも含めて全国においしさを伝えるため、店舗の数も増やしたいです。また、営業日や営業時間の見直し、テイクアウトメニューの開発など、やりたいことはたくさんあります。

「彩季亭」の一番のウリは「あつかしのどぶろく」ですが、老若男女問わず食べてもらえるメニューもあるので、主婦の方やお年寄りにも足を運んでもらえると嬉しいです。子どもや学生の方にも気軽に来てもらえるようなお店を目指し、三世代が和やかに過ごせる“国見町の憩いの場”になれるよう努力していきたいと思っています。



「地元の人たちに愛されるようなお店を目指します」と新商品や新メニューの開発に意気込みを見せる井内さん。

町長
コラム



ま
真 こらむ

【第5回】

「子どもたちの瞳」

扉が開く。入る。6年生の瞳が来る。議場が熱い。彼らの体熱。子どもたちの匂い。午前10時。ベルが鳴る。子ども議会の開会だ。

6人の議員が町を質す。夢を実現するための場を、外国人も楽しめる施設を、遊び場とカフェが一緒の施設を、旧大木戸小に学習と交流ができる場を、失業した人が働ける場を、歴史イベントと阿津賀志山の観光利用を、と。威厳ある子ども議長の下、国見町がこうあって欲しいとの思いを、顔を上げて、真っ直ぐの瞳で伝えてくる。その姿と一つひとつの言葉に、何度も鼻の奥がツンとする。

これまでになく難しい質問が揃う。答弁作りは難航、何度も書き直す。これは、子どもだからこそ、本物を見る、聞く、知るべきとの思いから。町に都合が悪い質問でもごまかさず、正直に答えることで、薄っぺらな、お為ごかしの議会にはしないとの思いが、彼らに伝わったならうれしいこと。閉会後のタウンミーティングで容赦ない意見を宣った彼らは、給食が待つ学校へ。「今日はラーメン、春巻き、もやしのナムル！」だそうなの…。



引地 真